



写真は中国ブロック会議



No.364

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連  
会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

## 「憲法9条」を前面に 同盟秋の運動を強めよう

九月いつせいに開かれた地方ブロック会議では、同盟  
 出番の情勢に確信を深め、同盟活動を力強く前進させる  
 意欲と決意がみなぎりました。

国連総会では、アナン事務総長が、アメリカのイラク  
 侵略支配をきびしく批判しましたが、ブッシュは無法な  
 占領支配を続け、テロ掃討の名の下にイラク住民への大  
 量殺りくを強行しています。

自衛隊の海外派兵に「憲法九条は邪魔だ」と圧力をかけ  
 るブッシュに屈従する小泉首相は、公明、民主、財界など  
 と総ぐるみで憲法九条を取り払い、教育基本法も改悪し  
 て戦争する国づくりへの策動をいっそう強めています。

しかし「九条の会」の訴えが出されて以来、賛同と共  
 感は全国に広がり、沖縄・宜野湾市での米軍大型ヘリ墜  
 落は「米軍は出て行け」の声を国中に広げています。

今こそ同盟の出番です。憲法九条守る闘いを広げ、平和  
 を語りついでいきましょう。五〇万署名と顕彰活動の前  
 進、一万六千の同盟員拡大に全力をあげましょう。

地方ブロック会議参加者のこの決意を全同盟員の決意  
 とし、この九月、すでに七千の署名を超えた秋田支部、  
 会員を二名からこの二年で四千七十七名に拡大した福岡県大  
 牟田支部の経験など、ひき続き同盟活動を力強く前進さ  
 せましょう。

### 主 な 記 事

各地の地方ブロック会議	2
顕彰碑/北海道釧路町	4
時の焦点/国連安保理常任国入り	5
抵抗の群像/石川さだのさん	5
同盟歌壇/碓田のぼる選	6
映画/「華氏九一一」	7
伊藤千代子没後75周年のつどい	7

# 憲法九条守れの先頭に立とう

## 各地の地方ブロック会議で交流

### 出足早い秋田支部 に励まされ

東北

東北ブロックは九月二、三日、宮城県松島で七〇名参加で開かれました。会議は中央本部の提案を受け二二名が活動報告をし交流を深めました。憲法問題では五名が発言、「守る会」「九条の会」組織化やビデオ活用の経験が報告され、改憲阻止へ会員一人一人が闘いの組織者となつて全力を尽くすと呼びかけられました。

五〇万署名では、早くも七千余の署名を集めた秋田支部の出足早い活動、署名推進資料の有効活用、目標やり抜く幹事会の決意、毎月の到達と課題を全会員に徹底の教訓は参加者を励ますものでした。山形県西村山支部の一五三%の教訓、宗教界での署名活動なども貴重な報告でした。また署名活動の反省と指導改善も述べられ、今度こそ全県が目標達成し、その

力で新しい展望を切り開こうと訴えられました。不屈の歴史を風化させない活動では、犠牲者名簿作成(福島)、墓参(岩手)など、調査・研究(山形)、歴史散策、小作争議(秋田)が報告され、情勢は侵略戦争と弾圧の歴史を語り継ぐことを強く求めていると強調されました。会員拡大と役員体制、支部確立の関連(宮城)、会員拡大と会費の早期納入(山形)、女性委員会活動(青森)の経験も報告され、東北の同盟運動を促進させる会議となりました。なお困難を抱え運動・組織の遅れている県に対して、特別の対策を検討することも確認されました。(〇)

### 役員先頭に全会員の運動へ

関東

九月十五日、十六日の関東ブロック会議について特徴を記します。

一、山梨県・石川さだのさんの

治安維持法違反を理由におこなわれた解雇処分に関する人権申し立てについて、九月、日弁連が甲府市長に名誉回復措置の勧告をおこなった報告に、大きな感動と関心が寄せられました。

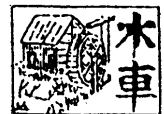
二、情勢については、改憲問題の危険性とともに戦前の国家総動員法の再現である「国民保護法」



が改憲との関連で語られ、署名、拡大の重大性が深められました。

三、署名目標を達成した経験では、茨城県が役員を先頭に全会員運動をめざした教訓、多面的な活動を署名と結びつけながら達成した神奈川県中央支部の活動などは参加者を励ましました。

四、女性からの発言も続き、地域活動、各集会への積極参加、「不



## 水車

短歌新聞社刊「昭和の記録・歌集八月十五日」、寄稿者一六五五人の一首一首の重みを心に受けとめながらよんでいます 小泉改造内閣閣僚らの「靖国」、改憲、愛国心は当然などという放言暴言がいかにかこれらの歌にこめた真情とかけ離れていることが。改めて怒りがこみあげてきます

「不屈」で馴染みの方の作品も「雪にかくれし野の道の凹凸をこえるたび兄は棺の中でコトコトゆれる」(碓田のぼる)、「使役されし朝鮮人夫七千余死者多数といわれしも定かにはらず」(寺島清文・松代大本営)、「この子も陛下のお役に立てて」といふも母、兄の遺影に崩れしも母(奈良達雄) 特攻、空襲、原爆、疎開、出征、勤労動員：五十九年後のいまも戦争の傷は癒えることはありません 水野昌雄氏の「八月十五日を歌うのは単なる回顧ではなく」「戦場化された被害者」の立場に立つ、視点も加える必要がある」との指摘(前文)には胸をえぐられる思いがします。(巽)

屈」発送などきめ細かな活動が報告されました。

五、名称問題、署名について中央のイニシア発揮、請願行動のあり方など、なやみや注文、疑問、意見など数多く出されました。

二日間にわたる討論は充実したもので、語り、学びあい、そして交流を深めた会議でした。(N)

### 情勢に敏感に

こたえて

東海

九月十四、十五日の両日、東富士演習場の砲音のひびく静岡県御殿場で、東海四県から五〇名が参加してブロック会議がひらかれました。会議では最初に神戸照副会長のあいさつで、当面の重大な情勢のもと、同盟の基本的な課題である五〇万署名をやりとげ、来年の大会までに会員一六〇〇〇名に拡大することの意義が強調され、各県の報告・発言がつけられました。

すすめているなど情勢に敏感にこたえて活動をひろげている報告、

国賠署名五〇万を今度こそはと、個人目標を自らひき上げ支部の目標達成に努力している中濃支部女性部の発言。さらに昨年につづき岐阜県本部女性部から、歴史探訪ツアーと会員拡大、「八・一五の訴え」の配布、「治安維持法と現代」の普及などについて感動的な発言が続き、会議は成功しました。

すでに会議後、静岡県や愛知県で九条の会を結成するとりくみ、会員の拡大、女性部の確立について積極的な動きや相談がはじまっています。(M)

### 原点にたつた

活動を

近畿

九月十六、十七日、大阪で開催、同盟中央から斉藤邦雄事務局長の参加も得て、六府県本部から延べ四五名が参加して行われました。

女性部ブロック会議が先立って行われ、全府県から一六名が参加、柳河瀬大阪府本部会長が課題の取り組みについて提起、全員発言で活動を交流しあいました。

ブロック会議では斉藤邦雄事務局長から当面の同盟活動について提起され、府県本部や支部の活動報告を交えながら、参加者全員が発言しました。

運動体としてどうやっていくか経験を聞きたい、低迷、停滞をどのように乗り越えるかなどの悩みも出され、治安維持法弾圧を生々



しく語り、弾圧が何をもたらしたのか原点にたつた活動をすすめることの重要性を討議の中で確認しました。

ツアーで学びあい会員拡大や署名運動の力にしていること、二十代の理事の活躍など、数多くの経験も交流されました。顕彰活動では和歌山の北山宗蔵

没後五〇年のつどいに三〇〇人以上参加したこと、その一方で宇治の街で山宣の墓所のありかを教えてくれる人にめぐりあえなかったことも出され、風化させない活動の大切さも確認しあいました。

治安維持法制定八〇年の節目の年にむかつて決意を固めあう有意義な会議でした。(Y)

### 九条の会のアピールにこたえよう

中国

中国ブロック会議は、中国五県から五〇人の各県代表が参加して、十三、十四日、倉敷市内でひらかれました。五〇人をこえる参加者がかつてないことで、「同盟の出番」という情勢を反映した活発な会議となりました。また、今年で九五歳になる山口県の田熊真澄さんも元気で二日間の会議に参加、四・一六の弾圧の体験などを生々しく発言しました。

発言の特徴の一つは、憲法九条改悪を許さぬ会のよびかけにこたえた自主的、創造的な活動がいたるところでくりひろげられていきます。「片手に憲法、片手に黄色の

署名」を推進していくなかで、「国民の過半数の国会請願署名を獲得しなくては」と、署名の自主目標を引きあげたなど、憲法と国賠署名が相互にからみあつて発展させることが可能であることが語られました。

国賠署名の飛躍的發展をかちとるためには、新しい層への働きかけが重要であることもいろいろの角度から強調されました。お寺、教会、連合系労組への要請活動など、新しい活動経験が報告されました。

女性部の発言が会議をリードしたのも大きな特徴でした。鳥取の女性部の活動は「学んで楽しく、生き生き活動」に集約されています。支部結成と会員拡大めきには組織は生き生きとしないということとです。(N)

### 忙しいときこそ

### 署名は進む

四国

四国ブロック会議は、九月十九日、徳島市内で開催され、各県から一四名参加。同盟中央の斉藤事務局長の挨拶に続き、討論の

中では、小泉の言う「普通の国」とは、「戦争できる国」のこと、今は国際的な紛争は武力でなく平和的な話しあいでの解決しようというのが大きな流れで、同盟は今こそ「九条を守れ」の先陣をきろうという意見が出されました。

五〇万署名では、目標達成については早くからとりくむことがカギとなっていること。高知県山田支部では、支部会議に参加した一人ひとりが自主目標を出して奮闘したとか、女性ばかりの支部が一

千筆の目標を決め超過達成したと、忙しいから署名が進まないのではなく、忙しいほど人と会う機会が多く署名は進む、などの意見も出されました。風化させない運動では、明治六年の徴兵令に反対して決起した数万人の「血税一揆」の跡を訪ねる

(香川)、日清戦争の日本軍による東字党農民運動の弾圧が四国出身の部隊であった(愛媛)など報告されました。

会員拡大では、高知から全国女性交流集會に参加した若い女性が、治安維持法犠牲者の体験を聞いて人生観が変わり若い人たちのあいだで拡大しているなど、全体

として本格的な拡大へのとりくみが確認されました。(K)

### 会員を拡大した

### 支部に学ぶ

九州

九月二十三、四日の二日間、福岡県糸島郡二志町で九州、沖縄ブロック会議が二名参加(佐賀県が欠席)して開かれました。

第一日目は午後二時から開かれ、福岡県本部副会長長舟越甲一氏が開会挨拶、中央本部副会長の神戸照氏が情勢と同盟の任務、ブロック会議の重要性について提起したあと、各県本部代表から報告がおこなわれました。夜は交流集會で全員が自己紹介したあと各県の

活動経験が交流されました。福岡からは毎年行われている福岡、北九州の戦争展、西田信春、豊原五郎(島根県出身)の先達を顕彰する活動や第八回国連要請に六名参加したことなどが話し合われました。

第二日目は、全員が発言したなかで、国賠署名に早くとりくみ、国会請願で紹介議員をふやすこと。福岡県の大牟田支部が〇二年

九月から二年間で会員を四七名ふやして、五〇名をこえる支部づくりの報告は各県の参加者に会員拡大の重要性が受けとめられました。宮崎県の中国人強制連行、強制労働による犠牲者の追悼、大分県の財政問題、事業費の予算化について発言。(H)

### 会員拡大で支部を強めた大牟田支部

二〇〇二年九月に支部を結成した大牟田支部が、二年間に二名の会員から四七名(九月二十二日現在)の支部に前進しています。

大牟田支部の経験は入会をすすめた人に「不屈」中央、県版、支部版を毎月届けて入会をすすめて入会者をふやしています。支部は毎月の役員会(五名)で

「いまの会員数では当面している情勢と任務にこたえることはできない。六〇年安保闘争と三池闘争を闘った伝統をもつ地域にふさわしい同盟支部を建設しよう」と決意。入会してもらいたい人の氏名、入会してもらおう期日も決めて、国賠署名と結びつけてとりくんだこととです。

顕彰碑

北海道釧路支庁釧路町

平和と社会革新の活動家を顕彰する

墓碑

「黎明」



釧路駅から車で国道三九一号线に出て、標茶にむかって北上し、釧路町わらびから右折して間もなく左に陵墓公苑があります。西側に釧路湿原を展望できる一角に、墓碑「黎明」があります。

この墓碑は、釧路地方で平和を求め、社会を良くする運動をした人々を追悼し、その足跡を記録し、

広く顕彰するとともに、納骨の希望にも応えていきたいとして建立されました。

「黎明」には文字通り闇いの夜明け、私たちの活動もこれから更にながらばついでいこうとの決意がこめられています。

十年ほど前から一人暮らしの活動家や、子どもが遠くに住んでいる活動家の間で、共同墓地が求められていました。

この要求に添えて、同盟釧路支部女性部は、道内や京都などの墓碑めぐりツアーをおこない、募金や墓所の選定につとめ、〇三年に完成、同年八月二日に除幕と第一回の墓前祭をおこないました。

目的に賛同する人と遺族とで「釧路黎明の会」を作り、墓碑の管理、慰霊・追悼行事をはじめ会員の交流、旅行会などを実施しています。会のパンフレットもA3、4ページ、カラー刷りで作り、新たな入会者が増えています。

(北海道本部 宮田 汎)

時の焦点

ことしの秋の国連総会に出かけた小泉首相、イラク派兵一年延長と、国連安保理常任理事国入り希望を表明しました。むき出しのアメリカ追従と、現在の常任理事国でいずれも核保有国の「米・ロ・中・英・仏」と肩を並べようとする大國意識。

今日の差し迫った国際情勢から、国際舞台での小泉首相への国民の期待は、来春の核不拡散条約再検討会議の成功に向けて被爆国として

「核兵器廃絶国際条約」締結の提唱や、「大義なきイラク戦争」告白のパウエル発言から深く反省して、「すみやかなイラク撤兵」などであつたはずで

常任国入りの発言をめぐって反対の声は、足下のアジアから起こりました。韓国紙は「かつての侵略戦争への反省の不十分なうえに、靖国参拝をくり返している」と国連憲章からみて不適格と指摘、中国では青年の間での賛成一%、反対九六%のアンケート結果を報道、中国政府の対応としては「日本など大國の参加より、安保理改革は発展途上國の拡大が優先

—小泉発言—  
国連安保理常任国入り

すべきだ」と慎重な態度を示しています。国際連合の主要な機関は、一、任期五年の事務総長を中心とする事務局。二、毎年秋の国連総会。三、安全保障理事会。

むろんほかにも経済社会理事會や国際司法裁判所、国連児童基金(ユニセフ)、国際原子力機関、国連教育科学文化機関(ユネスコ)など各分野での専門機関が活動していますが、もともとも強力な権限をもっているのが安保理、國際の平和と安全の維持に関する主要な責任を負う」との国連憲章にもとずいて、加盟國を拘束する決議を採択できる唯一の機関です。五カ國の常任理事國と、世界各地別に二年ごと留任なしで改選される十カ國の非常任理事國で構成されています。事務的問題はともかく実質的問題は常任理事國五カ國にふくめ九カ國の賛成で採択される仕組みです。

今日常任国入り候補は、日本・ドイツ・インド・ブラジルなど。日本に批判的な中国はドイツには好意的で五八%もの支持率。ドイツは侵略の歴史を反省した」との評価が理由です。

(元)

# 抵抗の群像

## 治安維持法で逮捕・解雇された

### 石川さだのさんの

#### 「名誉回復」を

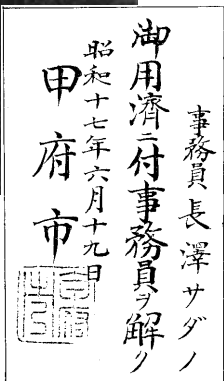
##### 日弁連が甲府市長に勧告



元甲府市職員で治安維持法犠牲者の石川さだのさん(八九才、山梨県甲府市)から「人権救済」の申立をうけていた日本弁護士連合会(梶谷剛会長)は、九月六日甲府市(宮島雅展市長)にたいし、「甲府市は、一九四二年六月治安維持法違反により逮捕・勾留され、これを理由に甲府市を解職された申立人石川さだの)につき、かかる事由を理由に解職したことは、申立人の思想・良心の自由、勤労する権利及び人格権たる名誉を侵害するものであり、申立人の

名誉回復のために適当な措置をとること」を勧告しました。

石川さだのさん(旧姓長澤サダノ)は一九一五(大正4)年葦崎市に生まれ、女学校を卒業後上京。一九三四年の東京交通バスの最後のストライキにも参加しています。一九三九年、東京初台の市営市場に勤めていましたが、ゴースキーやH.Gウエルズなどの発禁本を持っていたことで代々木署に



写真・上は石川さだのさんの近影。右は治安維持法で逮捕・釈放後に勤務先の甲府市からの解雇通知。

連行、菊屋橋署にたらい回しされ取り調べをうけています。釈放されて葦崎に帰郷。その後甲府市役所に勤務しますが一九四二年六月、職場に憲兵三人が訪れ、「治安維持法違反・石川静夫」と書いた紙切れを見せ、「この者を知っているか」と。石川静夫さんは初台の市営市場で一緒に働いた人です。

「とにかく来い」と甲府の憲兵隊に連行、東京牛込の憲兵隊に送られます。当時、石川静夫さんは第一陸軍病院で傷病兵の看護をする衛生兵でしたが、「多くの人が死ぬ戦争には反対だ」と言つて憲兵隊に逮捕、陸軍刑務所に送られます。さだのさんは憲兵隊留置場の苛酷な条件のもとで取り調べをうけ、軍法会議で治安維持法違反を理由に有罪判決、「執行猶予つき懲役3年」を言い渡され、猶予期間中は保護監察に付されます。さだのさんが釈放されて葦崎の実家に帰省しますが、甲府市役所から事務員 長澤サダノ 御用済ニ付事務員ノ職ヲ解ク 昭和十七年六月十九日 甲府市 印」の辞令が届いていました。

日本の敗戦後も保護観察はつづけられ、一九四五年十月八日に取り消されました。また、治安維持法は同年十月十五日廃止されましたが、さだのさんの解雇は取り消されることなく現在にいたっています。

石川さだのさんの「名誉回復」の闘いは、一九八一年以来、山梨民報や山梨解放運動のあゆみへの手記、九九年国連人権委員会や女性交流集会、平和のための戦争展での訴え、〇一年十一月二十一日甲府市長への訴え、〇二年三月十八日日弁連への「人権救済申立」、〇四年九月六日日弁連の甲府市長への勧告、同年九月十日甲府市長への訴えなど二〇年余にわたる闘いでありました。

今回の日弁連の勧告にたいし、甲府市は「調査報告書の事実認定を調査の上、対応していきたい」と答弁しています。

石川さんは「「名誉回復」がかちとれるよう多くの人々に訴え、そのことが平和と憲法を守るお役に立てたらと思います」と語っています。同盟県女性部長としてお元気ですが、「名誉回復を勝ち取るまでは死んでも死に切れない」と頑張っています。

(文責・山梨県本部副会長 広嶋喜栄司)

同盟歌壇

碓田のぼる選

千葉県 行木 権平  
パウエルが大量兵器なしというこの日ふたび浅間が噴火す

評 イラク戦争の無法な開始に恥じない米政府。自然も怒るぞ

鳥取県 大久保禮吉  
わが叔父は新興教育で検拳されぬその実践を調べてみたし

評 「新興教育」は一九三〇年代のプロレタリア教育運動

埼玉県 寺島 清文  
妻のひらきし「鑄物師文吾」の写真展入場する人切れ間もなく

評 作者は鑄物の街川口に住む。鑄物師への強い愛着を伝える。

東京都 山崎 元  
野球ストにファンの支援あつまれり生きゆく権利はわれらと同じ

評 労働組合としての選手会のストをわが身にひきつけて歌う

東京都 若林 義文  
天皇の兵みな死すを覚悟せし 過去をもつ国ぞ繰り返すまじ

評 九条改悪を公然と云う改憲勢力の動きへの強い危機感。

京都府 須田 稔  
「大人はなぜ戦争するの」と問う子にわれら笑顔で答えられるか

評 子どもが犠牲になる戦争が続く世界のあり方への子の抗議

静岡県 江川 佐一  
南光町役場の小さき標札と並びつつ「核廃絶平和都市宣言」は大きな

文字で 評 小さな町とは云え、志は大きく、と感動している。

俳句

東北ブロック交流集會にて  
・狼煙拳げ燃ゆる松島秋の朝  
・嗚呼渺々暁の松島霧の中

山形県 島津 昭

映画

『華氏九一一』

監督マイケル・ムーア

これは二〇〇三年三月、米アカデミー受賞式で「恥を知れ ブッシュ！」と叫んだマイケル・ムーア監督が怒りを込めて作った記録映画である。

映画は二〇〇〇年の大統領選挙で問題となった、フロリダ州においての不正集計騒ぎから始まる。

ブッシュ家とサウジアラビアの富豪であるビン・ラディン一族とのかわり。二〇〇一年九月一日、フロリダ州の小学校にいたブッシュが、秘書官からニューヨークの事件を伝えられてからの無表情な七分間の映像 無能さが伝わってくる。九・一一以降、国民に意図的に情報操作し危機感を煽るブッシュ政権 泥沼化するイラクの現状。ムーア監督の郷里フロリダの産業空洞化による失業率四〇%という深刻な貧困が戦場に送り出す兵士の供給源になっているアメリカの社会構造。「軍に志願すれば学歴もとれるし、就職にもありつける」と白人の海兵隊募兵係がスラムの若者を狙って勧誘している情景。ムーア監督自身が議員

たちに問う「あなたの子供はイラクへ行っているか？」とのインタビューを重ねる。

これらをドキュメントタッチで日頃我々の目に見えないアメリカを見せてくれる。

長男の戦死を知らされたライラ・リップスコムさんは長男のイラクからのブッシュを非難した手紙を泣きながら読み、正義の戦争と信じ込んでいた彼女は反戦主義に一変する。彼女はホワイトハウスの前で「知っていたつもりだったが、何もわかっていなかった！」と歎くシーンは、身内の戦死に抗議して座り込む女性の姿と共に特に印象的であった。

役者(ブッシュ)が役者だけにコミカルではあるが、決して笑っただけいられない映画である。

x x

カンヌ国際映画祭バルムドール賞についての質問「ブッシュ大統領が受賞を聞いたとしたら、どんな反応だと思いますか？」に対しムーア監督は「この賞が何かも知らないと思うよ」一同爆笑(倉)

# 伊藤千代子没後75周年

## 全労連 会館 記念の集いに280人が参加

「伊藤千代子没後七十五周年記念のつどい」が九月二十三日、東京・文京区的全労連会館ホールで開かれ二八〇人が第二会場を含めて参加しました。

伊藤千代子の顕彰碑は出身地の長野県諏訪市にあり、現地では毎年命日に墓参会がおこなわれています。

千代子が東京女子大を中退後、獄死するまで主として活動した東

京で記念の催しがおこなわれたのは初めて。当日は長野県からも関係者が参加、『イエローローズ・伊藤千代子の青春』の著者・葛城誉子さんと、千代子が拘禁精神病に侵されて入院した松澤病院の元院長・秋元波留夫さんが記念講演しました。参加者は千代子の苦難のなかで不屈に生きた精神を学びました。

### 第十五回全国女性交流集会

期 日 十一月十二日(金) 十二時受付十三時開会

十三日(土) 十二時散会

会 場 熱海市東海岸町十二 四〇

熱海市ホテル池田

(T.) 〇五五七 八一 九一六一

(F.) 〇五五七 八一 八八七八

治安維持法と憲法九条について

弁護士 根本孔衛

講 演 交通費分担金一人二万五千円を当日、受付に提出する(実費支給)。宿泊費、食事代は同盟中

央負担。

全県から、最低一名は参加して下さい。(女性部)

### 事務局日誌

9月2日 同盟都本部大会に参加 (斉藤)

9月5日 亀戸事件八一周年紀

念の集いで、追悼の辞を讀む(斉藤)

9月11日 憲法会議拡大常幹に参

加

9月21日 「不屈」十月編集会議

9月23日 伊藤千代子没後七五周

年の集い(二八〇人)

9月24日 安保破棄実行委シン

ポ、四十周年レセブシ

ヨン参加

9月30日 「不屈」編集わりつけ

会議

### 訂正

前号8頁の日本母親大会記事

「第1回の一九五四年」とあるの

は「第1回の一九五五年」の誤り

でした。訂正します。

### 出版案内

「学習の友」別冊

「日本国憲法改悪No.1」

生かそう職場・暮らしに憲法を

定価四〇〇円

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

## 『治安維持法と現代』 2004年秋季号 日発売



秋季号(No.8)では現在の政治情勢で大きな問題となっている二大政党論(畑田重夫氏)、憲法問題(渡辺治氏)、有事法制下の軍事体制づくり(山田朗氏)、日の丸・君が代強制(葦沢忠雄氏)など専門家の方々の論考を掲載。他に多彩な読み物を同盟員各氏から寄稿していただき、これまでも増して読みごたえのあるものになりました。学習に「読書の秋」の書としてご愛読ください。

A 5版156頁、定価1000円、送料270円。

制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟